

令和3年度第1回企画展 文書管理の歴史を紐解く  
 —古代～近世の文書の管理・保存・利用—  
 展示資料一覧

令和3年6月26日(土)～8月29日(日)

資料名	旧蔵者	請求番号	DA
<b>1 歴史書編纂事業と六国史</b>			
日本書紀	紅葉山文庫	特055-0010(10)	○
古事記	紅葉山文庫	特058-0001(1)	○
続日本紀	紅葉山文庫	特084-0002(3、10)	○
出雲国風土記	紅葉山文庫	172-0020	○
日本後紀	紅葉山文庫	137-0128(2)	○
類聚国史	—	137-0175(1、2)	○
<b>2 律令制下の文書管理</b>			
律	紅葉山文庫	特110-0001(1、2)	
律	紅葉山文庫	特001-0006	○
故唐律疏義	紅葉山文庫	史100-0002(3、5)	○
令義解	紅葉山文庫	特086-0001(5、6)	
令義解	林家(大学頭)	179-0003(8、9)	○
令義解	昌平坂学問所	267-0123(7、10)	○
<b>3 記録の役割と管理</b>			
九条殿遺誠(群書類従)	—	214-0038(599)	○
園太暦	紅葉山文庫	162-0124(19、32)	○
明月記	紅葉山文庫	特097-0002(47)	○
殿暦	—	161-0142(14)	○
兼仲卿記	教部省	162-0061(14)	○
親長記	坊城家	162-0227(11)	○
看聞日記	教部省	162-0201(29)	○
東鏡	紅葉山文庫	特105-0001(40、47)	○
斎藤親基記	—	特037-0005	○
◎足利義満袖判下文(朽木家古文書)	—	特073-0001(4)	○
☆足利義政袖御判御教書(朽木家古文書)	—	特073-0001(4)	○
<b>4 江戸幕府と記録資料</b>			
御実紀	紅葉山文庫	特075-0001(31～34)	○
駿府記	昌平坂学問所	165-0039	○
柳営日次記	—	164-0018(25)	○

資料名	旧蔵者	請求番号	DA
為政録	紅葉山文庫	特004-0002(10)	○
憲教類典	昌平坂学問所	180-0074(81)	○
諸州古文書	—	159-0218(5)	
竹橋余筆	昌平坂学問所	212-0285(7)	○
御触書天保集成	紅葉山文庫	180-0040(74)	○
徳川家判物并朱黒印	—	特108-0001(1)	
雑留	—	181-0051(6)	○
権現様御筆紅葉山江御納二相成候儀二付御 答申上候書付	多聞櫓	多028697	
◎御書物方留牒	—	181-0028(6~8)	○
◎御書物方日記	—	257-0002(198~200)	○
☆御書物方留牒	—	181-0028(9~11)	○
☆御書物方日記	—	257-0002(201~203)	○
◎御書物方留牒	—	181-0028(4)	○
☆御書物方日記	—	257-0002(171)	○
◎御書物方日記	—	257-0002(10)	○
☆御文庫始末記	—	218-0058	○
類聚国史	紅葉山文庫	特051-0001(6)	○

・DA欄に○が付いている資料は当館デジタルアーカイブで画像がご覧いただけます。

・資料名欄に◎が付いている資料は6月26日(土)~7月26日(月)まで展示予定です。

・資料名欄に☆が付いている資料は7月27日(火)~8月29日(日)まで展示予定です。

(国立公文書館デジタルアーカイブ <https://www.digital.archives.go.jp/>)

・主要参考文献(主な辞典・事典類、資料集以外のものを記載した)

遠藤慶太『六国史』(中公新書、2016年)

大石 学『近世日本の統治と改革』(吉川弘文館、2013年)

尾上陽介『中世の日記の世界』(山川出版社、2003年)

佐藤信・小口雅史編『古代史料を読む 上 律令国家篇』『古代史料を読む 下 平安王朝篇』(同成社、2018年)

佐藤進一『新版 古文書学入門』(法政大学出版局、2011年)

種村威史「徳川將軍文書の焼却にみる近世の文書認識」

(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第5号、2009年)

松蘭 斉『日記の家—中世国家の記録組織—』(吉川弘文館、1997年)

『日記に魅入られた人々 王朝貴族と中世公家』(臨川書店、2017年)